
2020年度第3四半期 決算公表資料

三菱商事株式会社

〒100-8086 東京都千代田区丸の内 2-3-1

【 問合わせ先 】 IR部 TEL: 03-3210-2121 MAIL: ml.mcir@mitsubishicorp.com



2021年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2021年2月3日

上場会社名 三菱商事株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8058 URL <http://www.mitsubishicorp.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 垣内 威彦
 問合せ先責任者 (役職名) 主計部 予・決算管理チームリーダー (氏名) 西原 直 (TEL) 03-3210-2121
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	収益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	9,110,536	△20.3	293,318	△46.9	203,732	△51.8	169,146	△54.7	337,260	12.3
2020年3月期第3四半期	11,429,500	△6.2	552,514	△13.9	422,304	△13.3	373,308	△15.6	300,188	△34.8

	基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	114.54	114.27
2020年3月期第3四半期	241.04	240.52

(注)「基本的1株当たり四半期利益」及び「希薄化後1株当たり四半期利益」は、「親会社の所有者に帰属する四半期利益」を基に算出しています。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	18,552,219	6,295,888	5,314,918	28.6
2020年3月期	18,033,424	6,216,894	5,227,359	29.0

(注)2020年3月期の各数値には、企業結合に係る暫定的な金額の修正を遡及的に反映しています。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	64.00	—	68.00	132.00
2021年3月期	—	67.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	67.00	134.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	円 銭
通期	200,000	△62.6	135.47

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(注) 詳細は、添付資料12頁「3. 会計方針の変更・会計上の見積りの変更」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	1,485,723,351株	2020年3月期	1,590,076,851株
2021年3月期3Q	9,787,770株	2020年3月期	105,580,338株
2021年3月期3Q	1,476,760,847株	2020年3月期3Q	1,548,725,315株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・ 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料4頁「1. (4) 業績予想の修正について」をご覧ください。

添付資料

目次

四半期連結財務諸表及び主な注記	2
1. 全般	2
(1) 業績概況	2
(2) 資産及び負債・資本の状況	2
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 業績予想の修正について	4
2. 要約四半期連結財務諸表	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書	7
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	8
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
3. 会計方針の変更・会計上の見積りの変更	12
4. 継続企業の前提に関する注記	12

※ 当社は、機関投資家・アナリスト向けの第3四半期決算説明会をテレフォンカンファレンス形式で開催する予定です。

なお、当説明会の内容（日本語）につきましては、当社ホームページ（IR（投資家情報））
<https://www.mitsubishicorp.com/jp/ja/ir/index.html> よりライブ配信いたします。

・2021年2月3日(水) 18:00～19:00・・・・・・第3四半期決算説明会

四半期連結財務諸表及び主な注記

1. 全般

(以下「四半期純利益」は「当社の所有者に帰属する四半期純利益」を指しています。)

(1) 業績概況

収益は、石油事業や鉄鋼製品事業における取引減少などにより、前第3四半期連結累計期間を2兆3,190億円(20%)下回る9兆1,105億円となりました。

売上総利益は、豪州原料炭事業における市況下落やCVS事業における加盟店収入の減少などにより、前第3四半期連結累計期間を1,856億円(14%)下回る1兆1,674億円となりました。

販売費及び一般管理費は、新型コロナウイルスの影響による営業活動の縮小などにより、前第3四半期連結累計期間から418億円(4%)減少し、1兆298億円となりました。

有価証券損益は、前年同期に計上した海外発電資産等の売却益や千代田化工建設の子会社化に伴う公正価値評価益の反動などにより、前第3四半期連結累計期間を147億円(33%)下回る298億円(利益)となりました。

固定資産減損損失は、前年同期に計上した船舶設備に係る減損損失の反動などにより、前第3四半期連結累計期間から35億円(35%)改善し64億円となりました。

その他の損益は、為替関連損益の変動などにより、前第3四半期連結累計期間から238億円改善し、96億円(利益)となりました。

金融収益は、資源関連投資先からの受取配当金の減少や米ドル金利の低下による受取利息の減少などにより、前第3四半期連結累計期間を568億円(41%)下回る823億円となりました。

金融費用は、米ドル金利の低下などにより、前第3四半期連結累計期間から180億円(34%)減少し、352億円となりました。

持分法による投資損益は、三菱自動車工業における減損損失等の取り込みや持分利益の減少などにより、前第3四半期連結累計期間を920億円(56%)下回る720億円(利益)となりました。

これらの結果、税引前利益は、前第3四半期連結累計期間を2,592億円(47%)下回る2,933億円となりました。

以上により、四半期純利益は、前第3四半期連結累計期間を2,042億円(55%)下回る1,691億円となりました。

(2) 資産及び負債・資本の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より5,188億円(3%)増加し、18兆5,522億円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末より2,303億円(3%)増加し、7兆1,677億円となりました。これは、営業収入により現金及び現金同等物が増加したことなどによるものです。

非流動資産は、前連結会計年度末より2,885億円(3%)増加し、11兆3,845億円となりました。これは、豪州原料炭事業において豪ドル高に伴う為替換算の影響により有形固定資産が増加したことなどによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末より4,398億円(4%)増加し、12兆2,563億円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末より2,470億円(5%)増加し、5兆5,933億円となりました。これは、食品流通事業やCVS事業における年末の季節要因に伴う取引数量増加により営業債務及びその他の債務が増加したことなどによるものです。

非流動負債は、前連結会計年度末より1,927億円(3%)増加し、6兆6,630億円となりました。これは、主に新規資金調達に伴い長期借入金が増加したことなどによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の資本合計は、前連結会計年度末より790億円(1%)増加し、6兆2,959億円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の当社の所有者に帰属する持分は、前連結会計年度末より875億円(2%)増加し、5兆3,149億円となりました。これは、主に配当の支払いにより利益剰余金が減少した一方で、連結純利益の積み上がりによる利益剰余金の増加や豪ドル高の影響による在外営業活動体の換算差額が増加したことなどによるものです。

また、非支配持分は、前連結会計年度末より85億円(1%)減少し、9,810億円となりました。

有利子負債総額から現金及び現金同等物や定期預金を控除したネット有利子負債（リース負債除く）は、前連結会計年度末より1,505億円（3%）減少し、4兆1,858億円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ2,260億円増加し、1兆5,488億円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において、営業活動により資金は8,479億円増加しました。これは、法人所得税や利息の支払いなどがあったものの、営業収入や配当収入、新型コロナウイルスの影響などによる取引減少に伴う運転資金の負担減などにより資金が増加したものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において、投資活動により資金は3,149億円減少しました。これは、その他の投資や関連会社への投資の売却などによる収入があったものの、設備投資、関連会社への投資や融資などによる支出により、資金が減少したものです。

投資キャッシュ・フローの主な内容及びセグメントは以下のとおりです。

新規・更新投資

- ・欧州総合エネルギー事業（電力ソリューション）
- ・HERE Technologies社宛て投資（その他）
- ・LNG関連事業（天然ガス）
- ・豪州原料炭事業（金属資源）
- ・北米不動産事業（複合都市開発）
- ・銅事業（金属資源）

売却及び回収

- ・上場有価証券（食品産業・コンシューマー産業など）
- ・北米不動産事業（複合都市開発）
- ・北米シェール事業（天然ガス）

以上の結果、営業活動及び投資活動によるキャッシュ・フローの合計であるフリーキャッシュ・フローは5,330億円の資金増となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において、財務活動により資金は3,156億円減少しました。これは、資金調達があったものの、配当金の支払いやリース負債の返済、自己株式の取得などにより資金が減少したものです。

配当は持続的な利益成長に合わせて増配していく「累進配当」を行う方針としています。自己株式の取得は、「中期経営戦略2018」期間中のキャッシュ・フローや適切な資本水準などを考慮の上、資本効率の向上を図るために実施したものです。負債による資金調達は、流動性と財務健全性の観点で適切な水準を維持する方針としています。

また、上記の財務会計上の営業キャッシュ・フローとは別に、将来の新規投資や株主還元などの原資を適切に表すべく、運転資金の増減影響を控除した営業キャッシュ・フローに、事業活動における必要資金であるリース負債支払額を反映した「営業収益キャッシュ・フロー（リース負債支払後）」と、さらに投資活動によるキャッシュ・フローを加えた「調整後フリーキャッシュ・フロー」を定義しています。

営業収益キャッシュ・フロー（リース負債支払後）は、当第3四半期連結累計期間において4,469億円の資金増となりました。

この結果、調整後フリーキャッシュ・フローは、1,320億円の資金増となりました。

(4) 業績予想の修正について

当連結会計年度の連結業績予想につきましては、2020年8月13日公表の連結業績予想から変更はありません。

(注意事項)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 要約四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間末 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び現金同等物	1,322,812	1,548,836
定期預金	101,016	115,195
短期運用資産	49,331	37,534
営業債権及びその他の債権	3,168,074	3,222,845
その他の金融資産	308,468	174,330
たな卸資産	1,294,479	1,339,901
生物資産	58,871	72,528
前渡金	45,776	67,183
売却目的保有資産	46,595	11,293
その他の流動資産	541,968	578,029
流動資産合計	6,937,390	7,167,674
非流動資産		
持分法で会計処理される投資	3,246,335	3,207,615
その他の投資	1,708,071	1,751,971
営業債権及びその他の債権	655,267	728,933
その他の金融資産	134,220	96,349
有形固定資産	2,232,941	2,444,811
投資不動産	96,709	94,858
無形資産及びのれん	1,395,053	1,418,606
使用権資産	1,429,288	1,445,040
繰延税金資産	36,146	38,197
その他の非流動資産	162,004	158,165
非流動資産合計	11,096,034	11,384,545
資産合計	18,033,424	18,552,219

(※)前連結会計年度末については、企業結合に係る暫定的な金額の修正を遡及的に反映しています。

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間末 (2020年12月31日)
負債及び資本の部		
流動負債		
社債及び借入金	1,472,769	1,456,009
営業債務及びその他の債務	2,547,012	2,835,539
リース負債	205,780	235,808
その他の金融負債	213,181	241,932
前受金	178,689	139,767
未払法人税等	40,000	31,934
引当金	87,564	83,097
売却目的保有資産に直接関連する負債	1,167	191
その他の流動負債	600,109	569,053
流動負債合計	5,346,271	5,593,330
非流動負債		
社債及び借入金	4,287,354	4,393,830
営業債務及びその他の債務	56,692	59,354
リース負債	1,297,530	1,272,749
その他の金融負債	40,286	63,304
退職給付に係る負債	123,690	123,835
引当金	162,622	179,548
繰延税金負債	469,314	534,382
その他の非流動負債	32,771	35,999
非流動負債合計	6,470,259	6,663,001
負債合計	11,816,530	12,256,331
資本		
資本金	204,447	204,447
資本剰余金	228,153	229,051
自己株式	△294,580	△27,223
その他の資本の構成要素		
FVTOCIに指定したその他の投資	359,974	406,496
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△27,422	△64,544
在外営業活動体の換算差額	82,634	187,433
その他の資本の構成要素計	415,186	529,385
利益剰余金	4,674,153	4,379,258
当社の所有者に帰属する持分	5,227,359	5,314,918
非支配持分	989,535	980,970
資本合計	6,216,894	6,295,888
負債及び資本合計	18,033,424	18,552,219

(※) 前連結会計年度末については、企業結合に係る暫定的な金額の修正を遡及的に反映しています。

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
収益	11,429,500	9,110,536
原価	△10,076,520	△7,943,095
売上総利益	1,352,980	1,167,441
販売費及び一般管理費	△1,071,608	△1,029,805
有価証券損益	44,487	29,789
固定資産除・売却損益	949	3,633
固定資産減損損失	△9,915	△6,414
その他の損益－純額	△14,182	9,617
金融収益	139,087	82,263
金融費用	△53,243	△35,216
持分法による投資損益	163,959	72,010
税引前利益	552,514	293,318
法人所得税	△130,210	△89,586
四半期純利益	422,304	203,732
四半期純利益の帰属		
当社の所有者	373,308	169,146
非支配持分	48,996	34,586
	422,304	203,732
1株当たり四半期純利益(当社の所有者に帰属)		
基本的	241.04円	114.54円
希薄化後	240.52円	114.27円

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	422,304	203,732
その他の包括利益 (税効果後)		
純損益に振り替えられることのない項目		
FVTOCIに指定したその他の投資による損益	△1,526	71,349
確定給付制度の再測定	10	△244
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	2,304	△3,495
合計	788	67,610
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△6,124	△14,573
在外営業活動体の換算差額	△58,203	120,729
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△58,577	△40,238
合計	△122,904	65,918
その他の包括利益合計	△122,116	133,528
四半期包括利益合計	300,188	337,260
四半期包括利益の帰属		
当社の所有者	251,619	305,451
非支配持分	48,569	31,809
	300,188	337,260

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
資本金		
期首残高	204,447	204,447
期末残高	204,447	204,447
資本剰余金		
期首残高	228,340	228,153
株式報酬に伴う報酬費用	1,990	1,631
株式報酬に伴う自己株式の処分	△1,080	△751
非支配株主との資本取引及びその他	498	18
期末残高	229,748	229,051
自己株式		
期首残高	△8,279	△294,580
株式報酬に伴う自己株式の処分	1,771	1,175
取得及び処分—純額	△233,543	△19,780
消却	—	285,962
期末残高	△240,051	△27,223
その他の資本の構成要素		
期首残高	914,807	415,186
当社の所有者に帰属するその他の包括利益	△121,689	136,305
利益剰余金への振替額	△16,757	△22,106
期末残高	776,361	529,385
利益剰余金		
期首残高	4,356,931	4,674,153
会計方針の変更に伴う累積的影響額	△9,079	—
会計方針の変更に反映した期首残高	4,347,852	4,674,153
当社の所有者に帰属する四半期純利益	373,308	169,146
配当金	△197,704	△199,853
株式報酬に伴う自己株式の処分	△670	△332
自己株式の消却	—	△285,962
その他の資本の構成要素からの振替額	16,757	22,106
期末残高	4,539,543	4,379,258
当社の所有者に帰属する持分	5,510,048	5,314,918
非支配持分		
期首残高	940,674	989,535
会計方針の変更に伴う累積的影響額	△2,677	—
会計方針の変更に反映した期首残高	937,997	989,535
非支配株主への配当支払額	△40,391	△35,168
非支配株主との資本取引及びその他	3,901	△5,206
非支配持分に帰属する四半期純利益	48,996	34,586
非支配持分に帰属するその他の包括利益	△427	△2,777
期末残高	950,076	980,970
資本合計	6,460,124	6,295,888
四半期包括利益の帰属		
当社の所有者	251,619	305,451
非支配持分	48,569	31,809
四半期包括利益合計	300,188	337,260

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期純利益	422,304	203,732
営業活動によるキャッシュ・フローへの調整		
減価償却費等	334,180	392,910
有価証券損益	△44,487	△29,789
固定資産損益	8,966	2,781
金融収益・費用合計	△85,844	△47,047
持分法による投資損益	△163,959	△72,010
法人所得税	130,210	89,586
売上債権の増減	189,872	4,658
たな卸資産の増減	△192,649	△45,854
仕入債務の増減	△151,736	159,929
その他—純額	143,558	60,893
配当金の受取額	254,636	188,081
利息の受取額	85,357	60,969
利息の支払額	△70,160	△50,252
法人所得税の支払額	△166,616	△70,652
営業活動によるキャッシュ・フロー	693,632	847,935

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産等の取得による支出	△242,367	△300,893
有形固定資産等の売却による収入	30,036	32,842
持分法で会計処理される投資の取得による支出	△131,355	△187,963
持分法で会計処理される投資の売却による収入	102,060	82,785
事業の取得による支出(取得時の現金受入額控除後の純額)	130,838	3,139
事業の売却による収入(売却時の現金保有額控除後の純額)	59,806	15,760
その他の投資の取得による支出	△30,761	△28,825
その他の投資の売却等による収入	94,693	92,245
貸付の実行による支出	△138,254	△54,410
貸付金の回収による収入	44,141	42,805
定期預金の増減－純額	2,476	△12,395
投資活動によるキャッシュ・フロー	△78,687	△314,910
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金等の増減－純額	294,727	126,508
長期借入債務等による調達	363,005	667,490
長期借入債務等の返済	△415,994	△636,149
リース負債の返済	△200,107	△210,855
当社による配当金の支払	△197,704	△199,853
子会社による非支配株主への配当金の支払	△40,391	△35,168
非支配株主からの子会社持分追加取得等による支払	△25,408	△12,852
非支配株主への子会社持分一部売却等による受取	13,992	5,037
自己株式の増減－純額	△233,250	△19,787
財務活動によるキャッシュ・フロー	△441,130	△315,629
現金及び現金同等物に係る為替相場変動の影響額	△12,700	8,628
現金及び現金同等物の純増減額	161,115	226,024
現金及び現金同等物の期首残高	1,160,582	1,322,812
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,321,697	1,548,836

3. 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

当要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。

4. 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

2020年度第3四半期決算

2021年2月3日

三菱商事株式会社

(将来に関する記述等についてのご注意)

- ・ 本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、及び将来の業績を保証するものではありません。
- ・ また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報、及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行って下さいますようお願い致します。
- ・ 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

(本資料における留意点について)

- ・ 本資料における「連結純利益」は、非支配持分を除く、当社の所有者に帰属する当期純利益の金額を表示しています。

2020年度第3四半期決算

	2019年度 第3四半期実績	2020年度 第3四半期実績	増減	2020年度 業績見通し	進捗率
連結純利益	3,733億円	1,691億円	▲2,042億円	2,000億円	85%
事業系	2,531億円	1,279億円	▲1,252億円	1,304億円	98%
市況系*	1,136億円	335億円	▲801億円	516億円	65%
一株当たり配当				134円	

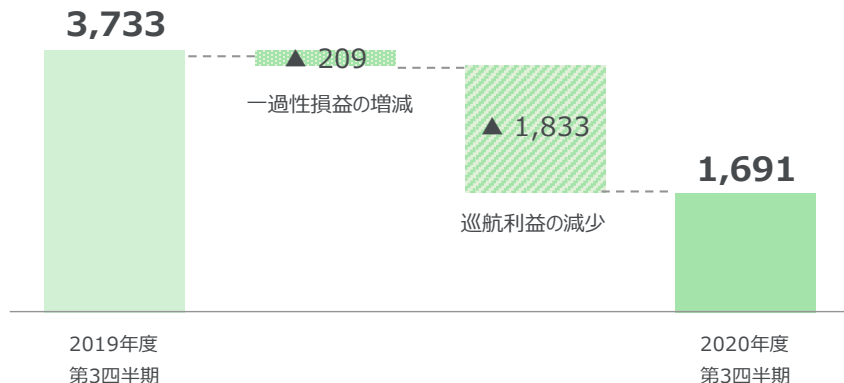
*「市況系」は天然ガスセグメントの内、北米シェールガス及びE&P、金属資源セグメントの内、トレーディング・インキュベーション関連以外、産業インフラセグメントの内、船舶（一般商船）を含めています。

<前年同期比の増減>

(億円)

◎ 連結純利益は前年同期比▲2,042億円の減益となった。

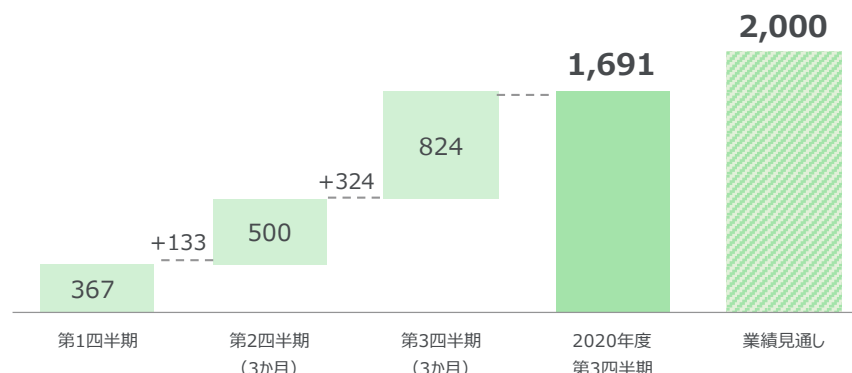
- ✓ 事業系は、前年同期に計上したシンガポールの原油・石油製品トレーディング会社における原油デリバティブ取引関連損失の反動があったものの、LNG関連事業や自動車関連事業などを中心に巡航利益が減少したことや、三菱自動車工業における減損損失等の取り込みなどにより、減益となった。
- ✓ 市況系は、豪州原料炭事業における巡航利益の減少などにより、減益となった。



<業績見通しに対する進捗>

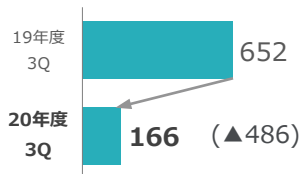
(億円)

- ◎ 四半期（3か月）ごとの連結純利益は、着実な回復基調にあり、2020年度業績見通しに対する進捗率は85%となった。
- ◎ 第4四半期に、三菱自動車工業における構造改革費用の取り込みに加え、事業環境の変化等も慎重に見極めていく必要があり、予断を許さないことから、業績見通し2,000億円は据え置いた。
- ◎ なお、配当見通し134円は変更なし。

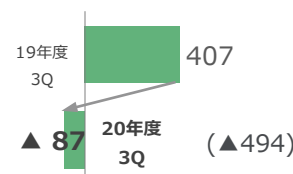


セグメント別の状況

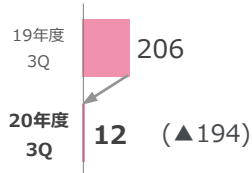
連結純利益： 2019年度第3四半期 3,733 (億円)
2020年度第3四半期 1,691 (▲2,042：前年同期比)



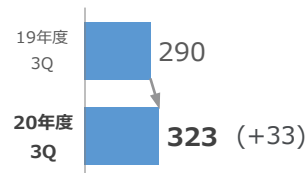
天然ガス (前年同期比 ▲75%減益)
LNG関連事業における受取配当金や持分利益の減少など



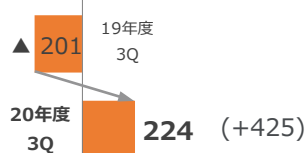
自動車・モビリティ
三菱自動車工業における減損損失等の取り込みや持分利益の減少など



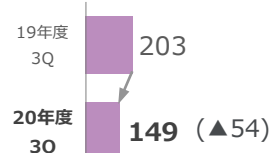
総合素材 (前年同期比 ▲94%減益)
鉄鋼製品事業における持分利益や炭素事業における事業利益の減少など



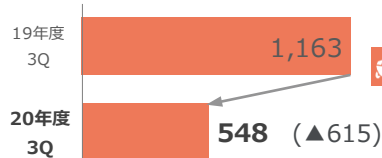
食品産業 (前年同期比 +11%増益)
食肉加工製造販売事業や海外食品事業における持分利益の増加など



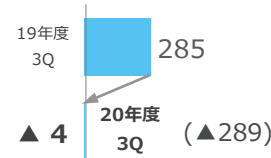
石油・化学
前年同期に計上したシンガポールの原油・石油製品トレーディング会社における原油デリバティブ取引関連損失の反動など



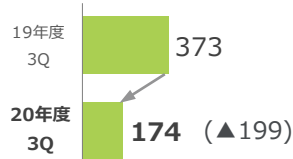
コンシューマー産業 (前年同期比 ▲27%減益)
CVS事業や海外アパレル関連事業における持分利益の減少など



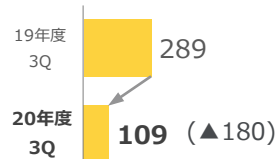
金属資源 (前年同期比 ▲53%減益)
豪州原料炭事業における市況下落による影響など



電力ソリューション
前年同期に計上した海外発電資産等の売却益の反動やオランダ税制改正に伴う繰延税金負債の積み増しなど



産業インフラ (前年同期比 ▲53%減益)
前年同期に計上した千代田化工建設子会社化に伴う一過性利益の反動、及び一般商船事業における一過性損失など

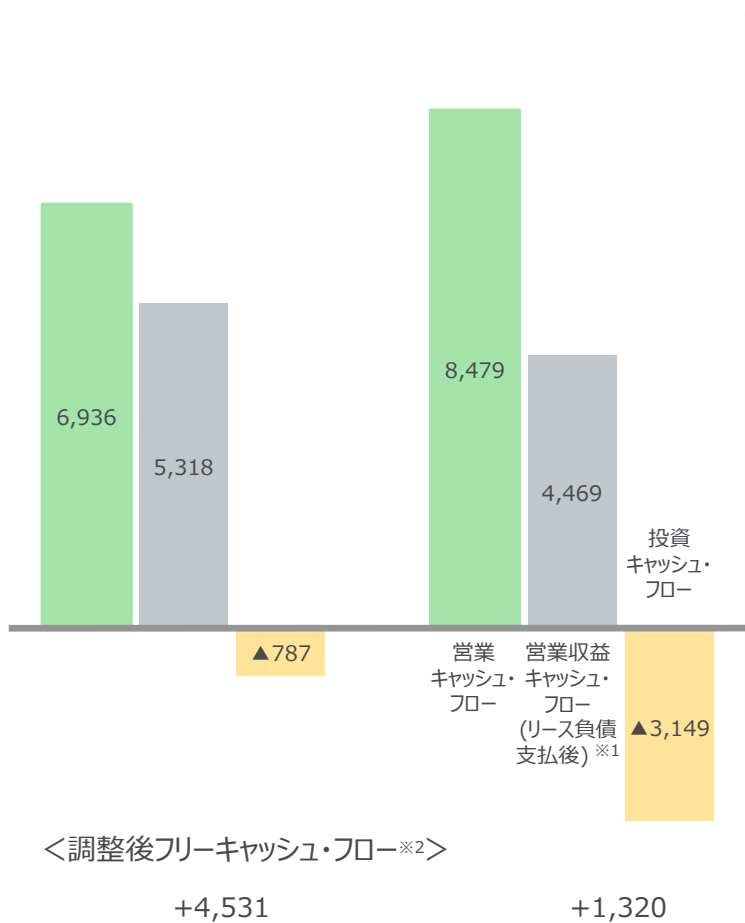


複合都市開発 (前年同期比 ▲62%減益)
航空機リース事業における減損損失等の取り込みや持分利益の減少、及びファンド評価損益の悪化など

キャッシュ・フローの状況

2019年度
第3四半期

2020年度
第3四半期



【キャッシュ・フローの主な内訳】

(億円)

参考	2019年度 (通期)	投資CF			調整後FCF	
		営業収益CF (リース負債支払後)	新規・更新投資	売却及び回収		ネット
		6,721	▲10,514	5,507	▲5,007	1,714
	2020年度 第3四半期	4,469	▲5,813	2,664	▲3,149	1,320

【2020年度第3四半期の投資キャッシュ・フローの主な内容】

新規・更新投資	売却及び回収
<ul style="list-style-type: none"> ・欧州総合エネルギー事業 (電力ソリューション) ・HERE Technologies社宛て投資 (その他) ・LNG関連事業 (天然ガス) ・豪州原料炭事業 (金属資源) ・北米不動産事業 (複合都市開発) ・銅事業 (金属資源) 	<ul style="list-style-type: none"> ・上場有価証券 (食品産業・コンシューマー産業など) ・北米不動産事業 (複合都市開発) ・北米シェール事業 (天然ガス)

※1 営業収益キャッシュ・フロー : 運転資金の増減影響を控除した営業キャッシュ・フロー (リース負債支払後)
 (連結純利益 (非支配持分を含む) - 減価償却費 - 投資活動関連損益 - 未配当の持分法損益 - 貸倒費用等 - 繰延税金) にリース負債の支払額を反映したもの

※2 調整後フリーキャッシュ・フロー : 営業収益キャッシュ・フロー (リース負債支払後) と投資キャッシュ・フローの合計

【参考】市況の状況

【為替・商品・金利市況の状況】

	2020年度 第3四半期実績	2020年度 業績見通し [※]	増減	2020年度業績見通しに対する損益インパクト [油価・銅地金については、生産数量等により大きく変動する 可能性があるため、現時点での試算に基づく参考値を記載]
為替 (円/US\$)	106.11	105.94	+0.17	1円の円安/円高につき年間15億円の増益/減益インパクト。
油価 (ドバイ) (US\$/BBL)	48	47	+1	US\$1/BBLの上昇/下落につき年間25億円の増益/減益インパクト。 連結会社との決算期の違いやLNG販売価格への油価反映の タイムラグ等による当社の実績への影響に鑑み、6か月前の油価 (通期：10～9月平均)を記載している。 但し、油価の変動以外にも、配当性向、為替要因、生産・販売数量 等の複数の影響も受けるため、油価のみで単純に決定されるものでは ない。
銅地金 (US\$/MT) [US¢/lb]	6,364 [289]	6,680 [303]	▲316 [▲14]	US\$100/MTの上昇/下落につき年間13億円の増益/減益インパクト (US¢10/lbの上昇/下落につき年間28億円の増益/減益インパクト)。 但し、銅の価格変動以外にも、粗鉱品位、生産・操業状況、再投資 計画(設備投資)等の要素からの影響も受けるため、銅の価格のみ で単純に決定されるものではない。
円金利 (%) TIBOR 3M	0.07	0.08	▲0.01	取引利益や投資利益により金利上昇の影響は相殺される部分が相 当あるが、金利上昇が急である場合には一時的に影響を受ける。
US\$金利 (%) LIBOR 3M	0.35	0.35	±0.00	

[※] 業績見通しは、通期平均価格を記載している。価格の推移を踏まえて、11/5に公表したものを修正している(油価は6か月前の油価を記載している為、確定値)。